

活力と魅力あるまちづくり

活

活-1 まちの産業が活力を発揮し
活躍するために

活-2 地域性を活かして人が集う
魅力的なまちになるために

施策目標

市内の農業・商工業を振興し、地域に根ざし、みんなに必要とされる産業が活発なまちをめざします。

み
創
笑
環
安
活

現状と課題

都心に近い立地でありながら、農地の緑を身近に感じることができるという点は本市の魅力の一つであり、多品目生産が特徴である本市の農業は、市民の食や暮らし、うるおいある生活を支えています。

しかしながら、後継者不足や農地の相続に関する税制などの影響で、農業者数や農地（生産緑地）面積は年々減少の傾向にあります。また、商業では、商店の廃業などによる空き店舗がみられる一方、工業では、大規模工場の撤退や縮小などにより事業所などが減少しています。

今後、農業においては、持続可能な農業経営の環境を整えるとともに、都市農業の多様な機能を適切かつ十分に発揮できるよう、めぐみちゃんメニュー事業の推進や農地の多面的な機能の活用の検討、農家と市民との交流促進など地域に密着した農業の振興に取り組むことが必要です。

商工業については、個々の商工業者の経営の維持・発展につながるよう経営診断や相談機能の充実を図るほか、イベントなどの開催や、空き店舗の活用などをおして商店街の振興を図っていく必要があります。また、市内の中小企業に対する支援を継続し、地域の雇用促進につなげることも重要です。

これらの多岐にわたる産業振興の取組を進めるにあたっては、市民の暮らしを支えるとともに、地域の価値や市民の愛着を高められるよう、農業・商工業従事者だけでなく、行政や市民、大学、金融機関等の連携を一層強めていく必要があります。



農産物キャラクター「めぐみちゃん」



指標	現状値	目標値
市内における農業産出額（農家1戸当たり平均）	4,346千円	4,346千円
農業経営の促進や都市農業の魅力向上に向けて、市内における農業産出額の確保に努めます。		
🌿 農地面積	135.0 ha	118.3 ha
2022年に生産緑地の多くが買取申出の時期（指定から30年）を迎えることもあり、農地面積の減少を抑えます。		
「めぐみちゃんメニュー」認定数（累計数）	188品	238品
飲食店において市内産農産物を活用したメニューを提供し、地域経済の活性化を促進することを目的に、メニューの認定数を増やします。		
🌿 市内事業所数	5,000事業所	5,150事業所
中小企業が起業・創業できる環境を整え、市内で新たに起業・創業を目指す人を支援し、商工業者を増やします。		
一店逸品認定数（累計）	171商品	351商品
本市における地域ブランドを市内外に広くPRし、入りたくなる店づくりへとつなげる認定制度を実施し、個店独自の「逸品」を確立します。		

主要事務事業

🍏: 西東京市のまちの「健康都市プログラム」（数字はプログラム番号）

事業	事業概要	所管課
効果的な支援による農業経営意欲の促進	都市農業の活性化に向けて、農業経営の安定化、農業への理解促進、農産物の安全性の向上などを目指した取組を支援します。また、農地の保全を図るとともに、農業経営者の育成や援農ボランティア制度の活用を推進します。	産業振興課
都市と農業が共生するまちづくりの推進	農業者と市民が相互理解を深め、農業振興及び農地の保全を図るため、市民・農業者・行政が連携して、農業体験や交流機会の創出に取り組みます。	産業振興課
地産地消の推進	農商工の連携により、市内産農産物の付加価値向上を図り、魅力的な農産物の提供を支援しています。また、「めぐみちゃんメニュー」を通じ、地産地消を推進するとともに、SNSやメディア等を活用して、商品や直売所等の魅力を発信します。	産業振興課
商店街活性化推進事業の推進	商店会の活動を促進し、商店街の賑わいを向上させるため、商店会が実施する各種イベントや、商店会が所有する施設の整備等を支援しています。また、商店街のブランドを向上させる取り組みを進めます。	産業振興課
中小企業者等への支援	市内中小企業者の経営の安定化を図るため、事業資金融資あっせん制度等による適切な支援を行うとともに、事業者ニーズに対応した新たな融資あっせん制度の検討を行います。また、市内ものづくり事業者の優れた商品等をPRし、ビジネスチャンスの創出を図るための、「産業ニュース」を発行します。	産業振興課
2 ハローワーク等と連携した就労支援の取組	未就労者の就職支援や労働環境改善を図るため、ハローワーク及び東京しごとセンターと連携して、就労についてのセミナーや就職面接会等を開催します。また、企業や労働者に向けた労働法等に関する知識の普及啓発に努めます。	産業振興課

施策目標

起業・創業に対する支援を行い、新産業を育て、地域の活性化をめざします。

現状と課題

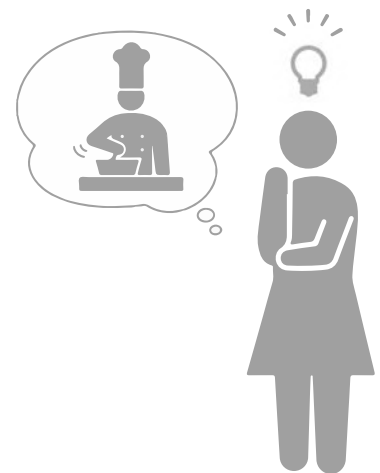
「第4次産業革命」とも称される急速な技術革新や、国をあげての働き方改革の推進等により、産業・就業構造は大きな変化を迎えようとしています。

本市においても、これまで、多様な働き方へのニーズへの対応及びより魅力的で活力ある地域の創出の観点から、既存産業の振興に加え、住宅との共生が可能なソフトなものづくり産業³²を視野に、創業サポートや女性の働き方サポートにも取り組んできました。

商工業分野では、大規模工場の撤退や縮小、関連事業所の減少のほか、商店街における後継者や空き店舗の課題がある一方、市内では新たに創業する事業者もみられます。

このような状況の中、引き続き、西東京商工会による西東京創業支援・経営革新相談センター³³運営や、チャレンジショップ事業³⁴、一店逸品事業³⁵に取り組むとともに、創業サポート施設の利用や女性の働き方サポートをさらに推進する必要があります。

新たな産業が根付き、地域の産業としてさらに発展できるようにするとともに、新たなチャレンジができる気運と活力あるまちとなるため、分野横断的な連携及び本市独自の創業支援事業の活用促進に向け、さらに取組を推進する必要があります。



³² 情報サービス業（ソフトウェア業、情報処理サービス業、情報提供サービス業など）、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業（映像情報制作・配給業、出版業など）、デザイン業、機械設計業に加え、西東京市においては、製造業のうち自社工場を持たない企業や研究開発中心型の企業なども対象に含めている。

³³ 平成14年に開設された西東京商工会が運営する機関で、創業・開業をめざしている人、創業・開業後間もない人、経営革新に取り組みたい人などを対象とした相談や講習会などを実施している。

³⁴ 商店街の賑わいの創出、活性化を図る目的のために、市内の空き店舗スペースを活用して、創業希望者を支援する事業

³⁵ 西東京商工会が実施している事業で、モノやサービスなど各店舗独自のこだわりの「逸品」を確立し、入りたくなるお店づくりを目指す事業



指標	現状値	目標値
Y 創業者数（累計） 中小企業が起業・創業できる環境を整え、市内で新たに起業・創業を目指す人を支援し、商工業者を増やします。	66 件	156 件
Y チャレンジショップを利用した事業者の件数（累計） 市内の空き店舗での創業支援及び空き店舗の有効活用を図るため、チャレンジショップを利用した事業者を増やします。	19 件	49 件
Y ハンサムママプロジェクト参加者数、満足度 出産・育児により離職中の女性を中心に、働く行動のきっかけとなる満足度の高い事業を実施し、女性の起業者を増やします。	360 人 90.0%	2,160 人 90.0%以上

主要事務事業

🍷: 西東京市のまちの「健康都市プログラム」(数字はプログラム番号)

事業	事業概要	所管課
2 起業・創業支援の取組	市内で創業する中小企業者の経営の安定を図るため、創業融資あっせん制度による資金調達の支援を行います。また、創業を促進するため、金融機関との連携による創業や経営に関する相談、各種セミナー等を開催するほか、空き店舗の有効活用に対する支援を行います。	産業振興課
産学公の連携	産業振興及び地域活性化に関わる事業の実現性の向上を図るため、産学公連携の強化を図ります。また、新たなマーケットの創出に向けたイベントの開催や西東京市ブランドの付加価値向上のための取組等を戦略的に推進します。	産業振興課
2 女性の働き方サポート推進事業の実施	子育て世代の女性を中心として、起業・創業及び就労を支援するためのセミナーやイベント等を開催します。また、市内で創業した女性経営者に対しては、ビジネスプラン・コンテストを開催することで、競争力のある経営者の育成を進めます。	産業振興課



創業サポート施設「HIBARIDO (ひばりどう)」

施策目標

自然や歴史、文化などの地域資源を活かし、まちの魅力を向上させるとともに、市内外へのシティプロモーション³⁶に積極的に取り組みます。

み
創
笑
環
安
活

現状と課題

活気あるまちであるためには、市外からも人を呼び込めるような魅力があるとともに、その魅力が十分にアピールされることが必要です。

本市は、5つの鉄道駅が存在し、都市計画道路の整備も進められるなど、市外からの交通の便がよく、都心に比べ比較的みどりが多く残されています。また、下野谷（したのや）遺跡など、歴史や文化などの地域資源が多くあり、その魅力をアピールする取組を進めています。

今後は、東大生態調和農学機構、多摩六都科学館等の地域資源を活かし、市民や大学、民間事業者等と連携した特色あるまちづくりを進め、市内外から人が集まり、多世代が楽しめる場づくりを検討するなど、地域のひと・もの・ことの魅力を最大限に引き出し「西東京ブランド」³⁷の構築を進めることが重要です。

駅周辺については、地域ごとの特性を踏まえ、にぎわい・交流の拠点としての機能充実に向けた検討を進める必要があります。さらには、駅前情報発信拠点の整備をはじめ、多様な情報媒体を活用したシティプロモーションを積極的に展開することで、まちの魅力の向上を図り、東京2020大会等を契機として、観光まちづくりにも取り組む必要があります。



©シンエイ／西東京市

西東京市マスコットキャラクター いこいーな

³⁶ 地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を発掘し、地域内外に効果的に広報し、それにより、人材、物、資金、情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと

³⁷ 西東京市と他の地域との差別化を図り、地域価値を向上させるために、西東京市の自然・文化・歴史的な地域資源、特産品、地域活動などを活用してできあがる地域イメージの総体を指し、このブランドの確立により、西東京市への誘客や地域経済の活性化につながることを期待されている。



指標	現状値	目標値
「まち歩き」事業に参加した人数（年間）	4,839人	5,000人
近隣市との連携等により、地域ブランド等を活用した「まち歩き」事業を実施し、市民の参加を募ります。		
Y 西東京市に住み続けたい、住みたいと思う人の割合	63.5%	67.1%
西東京市の住み心地に満足している人の割合の向上を目指します。		
地域ブランド調査における魅力度ランキング	都内26市中19位	都内26市中13位
まちのイメージ向上につながる事業・イベントの情報発信により、市の魅力度ランキングを向上させます。		

主要事務事業

🍏: 西東京市のまちの「健康都市プログラム」（数字はプログラム番号）

若者サミット: 「まちづくり若者サミット」からの提案を受けて、取組を進める事業

事業	事業概要	所管課
「いこいな」を活用した地域振興及び地域の魅力発信事業の推進	地域振興や魅力発信のため、マスコットキャラクター「いこいな」を活用したグッズの開発支援・販売支援等を行うとともに、市主催事業の広報等への積極的な活用を推進します。	企画政策課
1 まちの魅力向上事業の推進	市内外に向けた情報発信の強化を図るため、スマートフォン等で利用するアプリケーション「いこいな西東京ナビ」を活用して、観光・防災情報等の発信を行います。	情報推進課 企画政策課
西東京ブランドの構築に向けた取組	地域経済や市内産業の活性化を図るため、市内商工業者の自慢の逸品に対する認定を行うとともに、魅力の発信を行います。また、ふるさと納税や観光振興事業等との連携による西東京ブランドの構築を進めます。	産業振興課
みどりの散策路めぐりの充実	自然や文化財に親しみ、地域の良さを再発見する機会とするため、市内の魅力あるみどりをPRする冊子を作成するなど、まちを歩いて楽しめる環境づくりを進めます。	みどり公園課
まち歩き観光の推進	地域資源を紹介する冊子「おでかけ図鑑」を発行するとともに、他自治体との連携による広域的なまち歩きイベントを推進し、地域の魅力発信や交流人口の増加を推進します。	産業振興課
3 駅前情報発信拠点づくりの検討	市内外に向けて地域の魅力を発信するため、市内の主要駅や駅周辺における情報発信拠点の設置を行うとともに、デジタルサイネージ等の活用によるプロモーション機能の充実を図ります。	企画政策課 情報推進課 秘書広報課
1 つながりの広場づくりの検討 若者サミット	多世代が交流できる場づくりや、にぎわいの場づくりについて検討し、まちの魅力に繋がる取組を進めます。 まちづくり若者サミットからは、駅前に人が集まる広場等の空間を作り、そこで様々なイベントを実施することで、多世代のつながりを生み出し、まちのにぎわいをつくるという提案がありました。	企画政策課
3 東大生態調和農学機構等と連携したまちづくりの推進	東京大学生態調和農学機構等の地域資源を活かして、地域や大学、民間事業者等との連携による特色あるまちづくりを進めます。	企画政策課
西東京市誕生20周年記念事業の実施	2021年1月21日の20回目の市制記念日に向けて、これまでの市史を振り返り、市全体の機運を高めるとともに、市への愛着を深めるための記念事業を実施します。	企画政策課 秘書広報課



東大生態調和農学機構（平成 31（2019）年 3 月）



都市計画道路 3・4・9 号線の整備の様子（平成 31（2019）年 3 月）